

V-13 ロードフィニッシャーの比較検討について

東北地建 正員 三 谷 健

本題については、主としてロードフィニッシャーに取付けてある振動機の締固め能力という事を対象に、一定配合のコンフリートについて行った実験結果をすでに報告した。^{1), 2), 3)}

コンフリート舗装の振動締固め効果に影響を与える要素は、振動機の機械条件(振動数、取付、走行速度、加速度)の外、コンフリートの性状および路盤構造、余盛などと考えられるが、これらのうち本実験では、コンフリートの稠度(*consistency*)および路盤構造による締固め効果を取上げ次の条件で実験を行った。

締固め度は、各条件から5本のコアを採取し、4片に切断し、

コンフリート稠度(25°C)	0.5 CM	4.0 CM
路盤構造	厚26cmの海砂	最大骨材寸法50mm厚210mmの路盤

密度を測定し、そのデータを統計的手法によって整理し判定した。また、各条件から曲げ試験体を採取し、上下2層に切断して強度を比較した。この結果 ロードフィニッシャーに取付けてある振動機のうち、平面型より舟型の押込型の方がよく締固められている事が判明した。

また、従来行われて来た人力施工のハンドフィニッシャーについても実験を行い、機械化施工による締固め効果について比較した。本報告は、これの一連の現場実験を取まとめたものである。

文献

- 1) 三谷 健「ロードフィニッシャーの比較検討」土木回生学会年次講演会
- 2) 三谷 健, 磯エー男, 田代幹夫「コンフリート舗装の振動締固めに関する一実験」第4回道路会議論文集
- 3) 三谷 健, 磯エー男, 田代幹夫「ロードフィニッシャーの比較検討」建設の機械化 昭和32年3月号